

タヒチヌイトラベル発



2014年7月18日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。

みなさまこんにちは！

タヒチでは年に一度のお祭り「Heiva I Tahiti」がクライマックスを迎えています。

そこで今日は、Heiva I Tahiti の歴史をお勉強します。

1815年にタヒチに王朝を築いたポマレ2世は、タヒチ統一前、島々の首長との戦いに連戦連敗、大苦戦していました。神々への信仰が深かったその時代、ポマレ2世は「ポリネシアの神々は我を見限った」とし、当時イギリス・フランスから来ていた宣教師の説く新しい信仰・キリスト教に改宗します。そして首長たちを打ち破り、タヒチ最初で最後の王朝を打ち建て、国教としてキリスト教を定めました。

ところが1819年、そのキリスト教の規範（モラル）によって、肌を露出して激しく腰を振るタヒチアンダンスは、公序良俗を乱す淫らなものとして、法律によって公共の場で踊ることを禁止されてしまうのです。それに伴い、多くのタヒチ伝統芸能（歌など）も禁止されてしまいました。



60年の時が流れ、1880年、時の王ポマレ5世がタヒチ統治権をフランスに譲渡、ポマレ王朝は最期を迎え、タヒチは正式にフランス共和国の一部となりました。その影響で翌年1881年7月14日、フランス革命記念日がタヒチで初めて祝われます。この日、フランス政府はタヒチ芸能を規制する法律を撤廃。タヒチにとってまさに歴史が動く1日となりました。

その年からタヒチでは7月がお祭りの季節となり、さっそく同年に7月のお祭り（当時はタヒチ語で7月を意味する「Tiurai」がそのままお祭りの名前となりました）が始まりましたが、コンクールは歌のみでした。ダンスコンクールは20世紀になってやっと開催されます。実に80年の長い間、日の目をみる事が無かったのです。

今日では、Heiva I Tahiti と言えばダンスコンクールがメインです。そしてタヒチ No.1 の名誉をかけて最大 120 人のダンサーたちが華麗なダンスを繰り広げます。

今年の参加はプロ部門で 9 チーム。激戦のダンスコンクールを制したのは、前評判の高かった「Tahiti Ora」でした。3 年前にも優勝した、実力・人気ともにタヒチを代表するチームです。Tahiti Ora のダンスを見た人からは、異口同音に「震えるほど感動した」との感想が聞かれます。

皆様も、是非 1 度この感動を味わいにタヒチにいらっしゃってみませんか？

